裏磐梯だより

No.117
2023 年 1 月

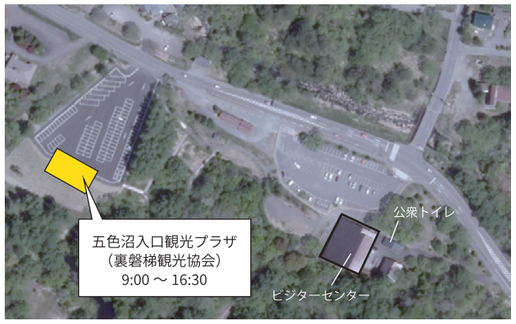
磐梯朝日国立公園　裏磐梯ビジターセンター

年末年始について

裏磐梯で散策する際は、防寒着・スノーブーツ・着替えなどの準備があると安心です。
また、自家用車でお越しの際はスタッドレスタイヤでお越しください。

2023 年1月

日	月	火	水	木	金	土
1 元日	2	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10 休館	11 休館	12 休館	13 休館	14
15	16	17 休館	18 休館	19 休館	20 休館	21
22	23	24 休館	25	26	27	28
29	30	31 休館				



休館　10 ～ 13 日、17 ～ 20 日の休館中は公衆トイレは使用できません。五色沼入口観光プラザのトイレをご利用ください。

第 14 回 裏磐梯雪まつり
裏磐梯ナイトファンタジー
屋内ブースでお待ちしています

2 月に裏磐梯サイトステーションを会場に行われる北塩原村の雪まつり。昼間は屋内外で多彩な体験活動があり、夜には雪原にキャンドルが灯り、花火が打ち上がります。当センターは下記の体験活動を実施予定です。

日　時：2023 年 2 月 18 日（土）　10:00 ～ 16:00

参加費：無料

内　容：
スタンプでつくる
裏磐梯の野鳥図鑑・
世界にひとつだけの
ポストカードづくり



詳細は裏磐梯観光協会の HP よりご確認ください。
www.urabandai-inf.com

レンタルグッズ

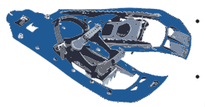
レンタルグッズ	料金
長靴	￥500
スノーシュー（冬期間のみ・大人）	￥1500
スノーシュー（冬期間のみ・子供）	￥1000

・貸出時間はビジターセンター開館～閉館まで。
・日付をまたいだレンタルはできません。

わくわくスノーシュー体験

「スノーシューの履き方」や「雪の上の歩き方」をレクチャー！
ビジターセンターを出発して、毘沙門沼の周りを歩くコース！
周辺の自然観察や解説を交えたガイドつき！

参加費　：　ひとり￥1,000
貸出物品：　スノーシュー
　　・ストック・長靴
所要時間：　１時間程度
参加人数：　５名程度 / 回



・参加の事前予約は受け付けていません。
・開催日は当センターウェブサイトの「施設」のページからご確認下さい（https://urabandai-vc.jp/facility/）。他のイベントの開催時や、スタッフの人数、天候などによって開催できない場合があります。
・子どものみの参加はできません（保護者のサポートが必要です）。
・スノーシューや長靴の数に限りがあるため、大人数や団体での利用は受付けていません。
・毘沙門沼の周りを歩いて帰ってくるコースです。他の場所も歩きたい方は、スノーシューのレンタルサービスをご利用ください。

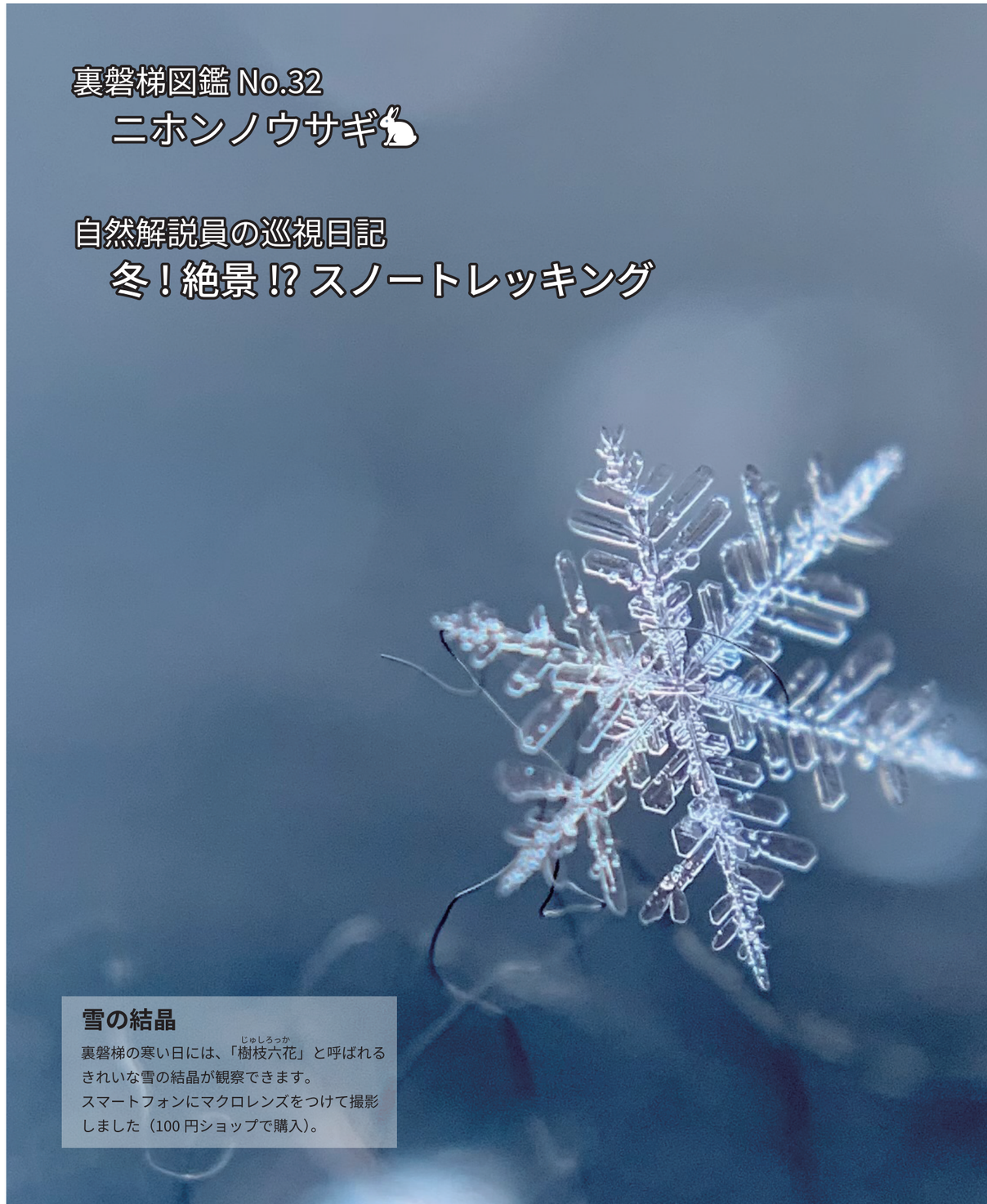
磐梯朝日国立公園　裏磐梯ビジターセンター
〒969-2701　福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峰 1093-697
【電話】0241-32-2850　【FAX】0241-32-2851　【ウェブサイト】http://www.urabandai-vc.jp/
【入館料】無料　【開館時間】9:00 ～ 17:00(4 月～ 11 月) ／ 9:00 ～ 16:00(12 月～ 3 月)
【休館日】毎週火曜日 (祝祭日のときはその翌日、年末年始・GW・夏休み期間は無休)

web（ＨＰ）　Instagram　Twitter

裏磐梯だより　2023 年 1 月　No.117[企画・発行] 裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会

裏磐梯図鑑 No.32
ニホンノウサギ

自然解説員の巡視日記
冬！絶景 !? スノートレッキング



雪の結晶

裏磐梯の寒い日には、「樹枝六花（じゅしろっか）」と呼ばれるきれいな雪の結晶が観察できます。
スマートフォンにマクロレンズをつけて撮影しました（100 円ショップで購入）。

裏磐梯図鑑　No32

ニホンノウサギ



今年の干支であるウサギ。
日本には４種類のノウサギが生息しています。よく混同されますが、ペットとして飼われているウサギはカイウサギで、ヨーロッパのイベリア半島付近を原産とするアナウサギを家畜化したものですので、種類が全く違います。
福島県にはそのうちの一種、ニホンノウサギが生息しています。

▲ニホンノウサギ　桧原剣ヶ峰
冬は白い毛、夏は茶色い毛におおわれる。耳の先が黒くなるのが特徴。

人と身近だったノウサギ

古事記（こじき）にある「因幡（いなば）の白兎」や、童話「かちかち山」、小学校の音楽の授業でも習う童謡「故郷（ふるさと）」の歌詞にある「♪兎追いし彼（か）の山」など、様々な童話や童謡に登場することから、古くからとても身近な存在だったことがわかります。



ところで皆さんは、野外でノウサギを見かけたことがあるでしょうか？私は裏磐梯では 2 度だけニホンノウサギに出会いましたが、他の動物と比べてあまり身近な動物という印象は持っていません。皆さんはどうですか？また、ノウサギは近年少しずつ数を減らしているというデータ　※ もあります。童話や童謡が作られた頃と比べて何が違うのでしょうか ？



人と身近すぎたノウサギ

猛禽類（もうきんるい）など天敵の多いノウサギは、大きな耳で天敵を感知し、まさしく「脱兎（だっと）のごとく」猛スピードで逃げます。そのため、逃走の邪魔（じゃま）になるような藪（やぶ）などが少ない、見晴らしの良い場所を好みます。

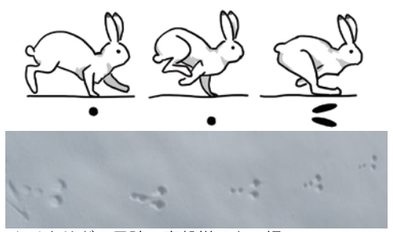
童謡「故郷」が作られた 1914 年頃、森林は炭焼（すみ）きの薪（まき）を取って利用されていました。その頃の森林は、人が入るために下草が刈られたり、間伐（かんばつ）され林内が開けている状態が多かったとされています。また、そのころの写真や風景画などを検索してみると、利用されすぎて木がほとんど生えていない、いわゆる「はげ山」も多く見られました。ノウサギはこういった木の少ない草原地帯に多く生息しています。

しかしながら、1960 年ごろ、石油などがエネルギーの主流となると、炭焼きは廃（すた）れ、森林も利用されなくなりました。そうすると草原には木が生え、下草が地面を覆（おお）っていきます。

つまり、ノウサギの多く生息するような場所が減ってしまっているのです。一見すると、緑が増えて自然が回復しているように見えても、ノウサギやそれを食べる生き物は減ってしまうということがあります。豊かな自然を守るためには、時には人の手による管理も必要なのかもしれません。

ウサギの痕跡を探してみよう

さて、実はノウサギをあまり見る機会がない理由はもう一つあります。それはノウサギの活動する時間帯です。ノウサギが活発に活動するのは早朝と夕方で、お昼に行動する私たちにはなかなか出会う機会はありません。そんなときは足跡を探してみましょう。せっかく足跡の残る積雪のシーズンですので、滅多（めった）に見られない生き物を身近に感じられる、足跡探しに出かけてみてはいかがでしょうか。



▲ノウサギの足跡　裏磐梯スキー場
大きな後ろ足の跡は、小さな前足の跡の前に出る。
夏場のスキー場は、ノウサギが生活しやすい開けた草原でもある。

※.....モニタリングサイト 1000 里地調査より
炭焼き...木材から木炭などの炭を作ること。
下草.....木の下に生えている背の低い草など。
間伐.....森林の一部の木を伐採し、木と木の間隔を広げること。

自然解説員の巡視日記

冬！絶景!? スノートレッキング

冬、 探勝路は雪に埋もれ、トレッキングはできないと思われがちですが、 雪があるからこそ無雪期には行けない場所を歩け、冬だからこその景色を見ることができます。また、冬芽や動物の足跡など、冬限定の発見もあります。

スノーシューは経験に関係なく誰でも簡単に取り扱え、 浮力も大きいので、 雪山でのトレッキングの用具として最適です。 運動不足になりがちな冬、 お弁当や温かい飲み物をもって、 スノーシュートレッキングで体を動かしてみませんか。 スノーシューをお持ちでない方も、 当センターでレンタルしていますので、 チャレンジしてみてはいかがですか？コースや服装、 持ち物など不明なことがあれば、 スタッフにご相談ください。



高曽根太郎
幹回り約 6m「東北で一番太い」といわれるブナ



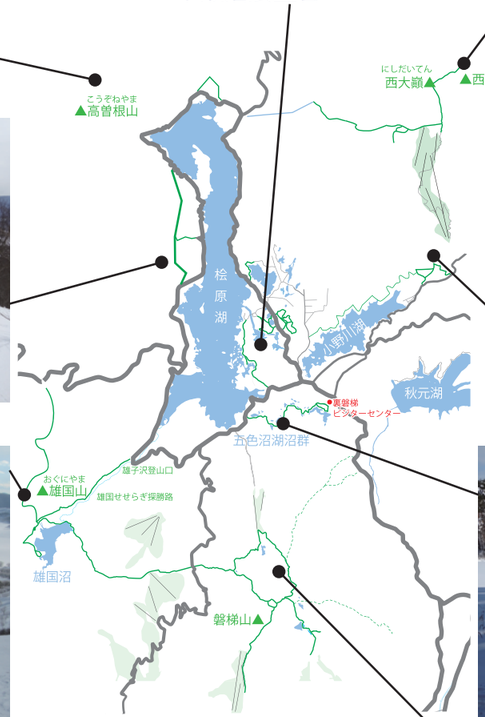
野鳥の森探勝路



中瀬沼展望台



西吾妻山のモンスター（樹氷）





小野川不動滝



雄国山からの雄国沼



弁天沼（五色沼湖沼群）



ブナ林



ノウサギの足跡



イエローフォール